

平成 26 年度観光地域ブランド確立支援事業 千年の草原を活用したプログラム開発業務

阿蘇の草原を保全しながら活用する観光・エコツーリズムを推進していくため、阿蘇市内牧地区を中心に草原をはじめ地域資源を活用して、集客が期待でき、収益に結びつけることができるようなプログラム開発に向けて、前年度調査を踏まえ、牧野組合や観光・旅館業など地元関係者によるフィールドワーク／ワークショップを行いながら具体的に検討した。

【検討概要】

- ◇前年度の検討結果をもとに、里から北外輪山に至る坂道の現地調査を行った上で、具体的なコースを設定。料金設定も含めて実施に向けた検討を行い、「西湯浦トレッキングツアー（仮称）」のプログラムをまとめた。
- ◇内牧周辺で当面実施可能な 11 件の体験プログラムについてとりまとめた。



フィールドワーク後の意見交換

＜ワークショップ開催経緯＞

	検討内容
第1回WS/フィールドワーク (H26.10.28)	○タケント坂等の現地調査 ・道や資源の状況、休憩・解説ポイント、所要時間、送迎方法 等 ・ツアーコースとしての可能性 等 ⇒検討を進めるコースの抽出
第2回WS/フィールドワーク (H26.12.2)	○北外輪山の坂道を利用したエコツアーコース設定に向けた現地調査 ・整備必要箇所、整備方針、解説ポイント、内容の設定 等
第3回WS (H26.12.24)	○商品化に向けた検討 ・実施・運営主体、ガイドやサービスのための連携体制 等 ・運営・集客方法、料金設定等)
第4回WS (H27.1.13)	○実施に向けた検討 ・実施方法、必要な調整・整備等 ○内牧を中心とする草原関連の体験プログラムの検討 ・実施内容、実施体制、料金設定等

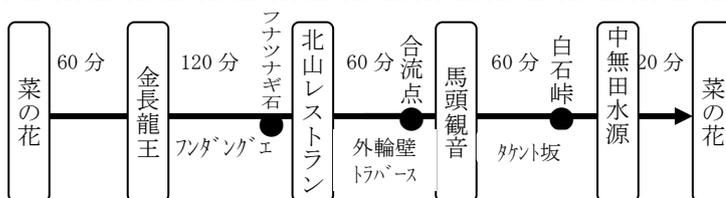
【西湯浦トレッキングツアー（仮称）の概要】

- ・西湯浦の里から北外輪山上まで、標高差約 400 mの外輪壁に残る草の道を歩く。コース全長約 6.6 km、昼食を含めて約 6 時間の 1 日コース。
- ・里山歩き、急な外輪壁の登りなど高低差のあるコースを、北外輪山の草原やカルデラの絶景など植生や景観を、地元案内人の変化のある楽しみながら、草原とともにある地元の暮らしや歴史・文化に触れる。
- ・また、阿蘇カルデラの成り立ちと関連する地形・地質や草原再生活動の実施地を見ることで、阿蘇千年の草原について深く知ってもらう。



◇コースの概要

標高(m)	500	700	800	940	900	850	720	550	500
距離(km)	← 1.9	→ ← 0.7	→ ← 1.4	→ ← 1.9	→ ← 0.7				



金長龍王



フナツナギ石



フナツナギ石



外輪壁トラバース